

目指せ！ごみ減量 生ごみ処理にひと手間を

わたしたちが生活していく上で、どうしても出てしまう「ごみ」。13万に近い人々が住む本市では、昨年度、2万705トという大量の家庭ごみが発生しました。ごみを減らしていくためには、一体どうしたらいいのでしょうか。6月の環境月間に合わせて、ごみの減量化について考えてみましょう。

■担当 本庁生活環境課

多い？少ない？

本市のごみ収集量

本 市のごみ処理は、金ヶ崎町と共同で運営する奥州金ヶ崎行政事務組合（胆江地区衛生センター）で行っています。市内の月ごとのごみ収集量は、広報おしゅうお知らせ版で皆さんにお伝えしています。年間では、どれぐらいの量のごみが発生しているのでしょうか。各ごみステーションの収集量と、胆江地区衛生センターへの直接搬入量を合計した昨年度の家庭ごみの量は、2万705ト。人口の変動もあるのですが、概に比較はできませんが、20年度の2



あなたのひと工夫で
もっとスリムに！

計画では、「1人が1日に出すごみの量を、28年までに430g以下にする」という目標を定めました。市内のごみの量は減少傾向にありますが、目標の達成に向かって、市民や事業者、行政などが協働しながら取り組んでいく必要があります。

家庭でできるごみ減量化 「生ごみの水切り」

市 はこれまで、家庭用生ごみ処理機器の購入補助や、資源物回収への報奨金などを通じて、市民の皆さんの活動を支援してきました。6月の環境月間を迎え、本年度は特に「生ごみの減量化」に取り組んでいきます。各家庭から生ごみとして出される前の段階で、しっかりと水切りを行うことが、生ごみの減量化につながります。

生ごみの約80%は水分です。水切りを行うことで、生ごみの重量を約10%減らすことができます。夏場は、水分を多く含んだ果物や野菜が多く出るので、特に注意が必要です。水分を多く含んだごみは、嫌なにおいの元になるだけでなく、焼却に時間がかかるため、余計な二酸化炭素を排出する原因にもなります。そこで、生ごみのもうひと絞りが重要になってくるのです。身近な器具やゴム手袋を使って絞るなど、さまざまな方法がありますので、自分に合った方法で実践してください。

また、市では、市公衆衛生組合連合会と連携して、便利な水切り用具の紹介や、簡単な水切り方法の提案なども行っています。各家庭で実践する小さなひと絞りが、市全体では大きなごみの減量につながります。この機会にみんなで実践していきましょう。

■市内の家庭ごみの推移

項目	18年度	19年度	20年度	21年度
全体量	22,400t	21,956t	21,791t	20,705t
1日1人当たりの量	473g	468g	467g	447g

今日からできる！水切り実践例

①ぎゅぎゅっと絞る

三角コーナーなどの生ごみは、ペットボトルの底などを使って押し、手も汚れず、簡単に水分を取り除くことができます。絞りにくい生ごみは、ゴム手袋をはめて直接絞る方法もあります。

②乾いた生ごみはぬらさない

水分が少ない野菜や果物の皮は小まめに捨てる、三角コーナーを水のかかる場所に置かないなど、ちょっとした工夫で余分な水分を含まずに済みます。

③ぬれた生ごみは十分に乾かす

水分が多い生ごみは、細かくすることで水分が抜けやすくなります。天日干しするのも効果的です。

④生ごみとして出す量を減らす

食料品の買い過ぎに注意し、調理を工夫することで、生ごみを減らすことができます。



※家庭で生ごみ処理機器などを使うときにも、このような水切りが有効です

不用品収集は許可業者へ ～無許可業者にご注意～

廃家電など不用品の収集を有料で業者に依頼するときは、一般廃棄物処理業（収集運搬業）の許可を取得している業者に頼みましょう。

■無許可業者に不用品の有料の収集は頼まないでください

事業者が、廃家電などを有料で回収するためには、営業区域の市町村長の許可を得る必要があります。許可業者は環境担当課で確認できますので、無許可業者には引き取りを頼まないでください。

■無許可業者に不用品の収集を頼んだことによるトラブルが発生しています

国民生活センターや県民生活センターには、無料だと思って頼んだら、車に積んだ後で料金を請求されたなどの相談が寄せられています。悪質な業者とのトラブルに巻き込まれないよう、不用品の収集を頼む場合は十分注意しましょう。

電気を消してスローな夜を ～ライトダウンキャンペーン～

電気を使うことに馴れた日常生活。そんな中、夜間に照明を消すことで、いかに電気に頼っているかを実感する活動が「ライトダウンキャンペーン」です。ことしは、6月20日から7月7日まで行われます。照明を消し、電気プラグを抜くことで、地球に小さな休息をもたらします。皆さんも照明を消して、ロウソクの明かりと緩やかな時間の中で、地球温暖化について考えてみませんか。

■2010 キャンドルナイト in みずさわ

この取り組みの一環として、地球温暖化対策地域協議会「みずさわ地域ぐるみエコネット」では、「2010 キャンドルナイト in みずさわ」を開催します。

日時：6月19日(土)午後6時～7時

会場：水沢公民館体育館

内容：タマチャールズさんのミニコンサート、絵本の読み聞かせなど

入場料：無料

